

フランス退け全勝V

スマイルジャパン

世界女子アイスホッケー 小野先制ゴール

【グラーツ（オーストリア）時事】アイスホッケー女子世界選手権、アイビシヨン1A（2部相当）は21日、オーストリアのグラーツで行われ、既に優勝と来季の1部復帰を決めていた日本はフランスに4-0で快勝し、5戦全勝で大会を終えた。

十勝からメンバー入りしているFW小野粧子（フルタイムシステム御影グレッズ）は1ゴール1アシストと存在感を示す活躍を見せた。DF志賀葵（帯広レディース、帯広三条高3年）も守備面で貢献しつつ、シユート1本を放った。GK近藤真衣（フルタイムシステム御影グレッズ）は出場しなかった。

悲願の五輪勝利へ「もつと得点力を」

▽日本がフランスを退け、5戦全勝で大会を終えた。小野の先制ゴールなど第1ピリオドだけで3点を



全勝で優勝を飾り、笑顔で記念撮影するアイスホッケー女子日本代表の「スマイルジャパン」=21日、オーストリア・グラーツ（時事）

奪い、その後も隙のない展開。優勝国に恥じない内容で大会を締めくくり、山中監督は「すっきり終わった。過密日程の中、選手たちの努力に感謝したい」とねぎらった。

短いオフシーズンを終え、その後、悲願の五輪初勝利に向けて再び苛酷な強化合宿が始まる。主将の大沢は「今大会ぐらいの内容だと平昌五輪で結果は残せない。もつともつと得点力を上げないと」と、かぶとの緒を締め直した。